

第5次

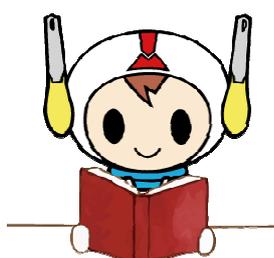
南種子町子ども読書活動推進計画



令和7年3月

南種子町教育委員会

南種子町立図書館



目次

はじめに	1
第1章 第4次計画期間（令和2年度～6年度）における現状と課題	2
第2章 基本方針	3
第3章 子どもの読書活動推進のための方策	3
I 家庭における子どもの読書活動の推進	3
II 地域における子どもの読書活動の推進	4
1 町立図書館	
2 民間団体等への支援	
III 学校等における子どもの読書活動の推進	5
1 幼稚園・保育園	
2 小学校・中学校・高等学校	
IV 子どもの読書活動に関する広報・啓発の推進	7
1 「子ども読書の日」を中心とした取組	
2 各種情報の提供・収集	
3 学校、図書館、民間団体及び個人における優れた取組の奨励	
第4章 第5次子ども読書活動推進計画における達成目標	7
1 児童・生徒に関すること	
2 家庭における読書活動の推進に関すること	
3 町立図書館の運営に関すること	
4 第5次推進計画における達成目標（令和11年度までの目標値）	
< 参考資料 >	
資料1 子どもの読書活動に関するアンケート調査の結果	14
資料2 南種子町立図書館への要望	29
資料3 各学校における読書活動に関する取組状況調査の結果	30
資料4 第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画の概要	36
資料5 子どもの読書活動の推進に関する法律	39
資料6 子どもの読書活動に関するホームページ一覧	41
資料7 用語解説	42

はじめに

子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、創造力を養うなど、人生をより豊かに生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。そのため、子どもの読書活動の推進にあたっては、本に親しみやすい環境を整え、読書が楽しいと感じられるような興味を引く仕掛けづくりをしながら、子どもが主体的に継続した読書活動を行うことができるよう、社会全体でその推進を図っていくことが重要となる。

しかし近年は、ICT技術の発達を始め、子どもたちのスマートフォン利用率が年々増加して、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）や通信ゲームなどが身近になり、コミュニケーションや情報へのアクセス方法が多様化していることで、子どもの読書離れの傾向が進んでいる。

本町においても、令和6年度に実施した「子どもの読書活動に関するアンケート調査」により、年齢が上がるごとに読書率の低下が見られることから、ICT技術の発達・普及と子どもの読書離れとの関係について今後も留意する必要があると、家庭・地域・学校・町立図書館が連携し、情報共有に努めていくことが望まれている。

このような現状を踏まえ、国は平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、読書活動への取り組みの意思を明確にしている。また、鹿児島県では、全国に先駆けて昭和35年に開始された「親子20分読書運動*1」を契機に読書の推進が行われてきた。令和6年3月に「鹿児島県子ども読書活動推進計画」の第5次計画が策定され、本町においても、この計画を基本としながら、子どもたちがあらゆる機会、場所において、主体的に読書活動に取り組めるよう推進している。そのような中で、町立図書館や各学校において図書管理システムが整備され、子どもたちをとりまく読書環境の整備が進み、社会全体で子どもの読書活動を推進していこうとする気運が高まってきているところである。

今回、これまでの5年間の取り組みの成果と課題を踏まえ、「南種子町子ども読書活動推進計画」を改訂し、本町の町民憲章の一つに「教養を高め、明るい文化の町をつくります」とうたわれていることから、本をもっと子どもたちの身近なものにし、家庭・地域・学校・町立図書館が一体となって取り組む読書環境づくりを推進し、さらにその充実を図るための指針とする。

第1章 第4次計画期間(令和2年度～6年度)における現状と課題

第4次計画では、7つの達成目標を掲げたが、達成の現状は下記とおりである。

この期間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、学校、図書館および地域での活動に制限があった。そのような中、様々な取り組みが実施されたが、令和6年度に実施した「子どもの読書活動に関するアンケート調査」からいくつかの課題も明らかになった。

まず、不読率の低減を目標として掲げたが、特に中高生において読書習慣が十分に定着していないことが明らかになった。スマートフォンの普及などにより、読書時間の確保が難しくなっていることが一因と考えられる。また、ボランティア養成講座は計画されていたが、十分に実施されなかった。参加者の確保が課題であり、学校や地域と連携した啓発活動が必要となる。乳幼児期における読み聞かせの重要性は認識されているが、保護者の多忙により、継続的な取り組みが難しくなっている。地域の支援体制を強化し、読み聞かせ活動の充実を図る必要がある。小中高校生の図書館利用率が目標値を達成できておらず、特に高校生の利用率向上が課題となっている。学習スペースの拡充や電子書籍サービスの導入など、魅力ある図書館環境整備が求められる。

達成目標	項目	R元年度の状況	R6年度までの目標値	R6年度の状況
①	不読率の改善（小学生）	0.7%	0.7%	<u>2.1%</u>
	不読率の改善（中学生）	8.1%	5.0%	<u>21.0%</u>
	不読率の改善（高校生）	21.6%	15.0%	<u>23.1%</u>
②	中学生・高校生を対象としたビブリオバトルの開催	年0回	年1回以上	<u>年1回</u>
③	子ども図書館ボランティア養成講座の実施	年0回	年3回以上	<u>年0回</u>
④	読み聞かせ率の改善 (0冊:0日)(1週間単位)	14.8%	10.0%	<u>18.2%</u>
	読み聞かせ率の改善 (0冊:0日)(1ヶ月単位)	9.8%	5.0%	<u>11.4%</u>
⑤	乳幼児の保護者を対象とした研修会・講座の実施	年0回	年1回以上	<u>年6回</u>
⑥	町立図書館利用率の向上 (小学生)	41.7%	50.0%	<u>38.0%</u>
	町立図書館利用率の向上 (中学生)	28.2%	35.0%	<u>26.9%</u>
	町立図書館利用率の向上 (高校生)	17.8%	25.0%	<u>15.4%</u>
	町立図書館利用率の向上 (乳幼児保護者)	44.0%	50.0%	<u>50.0%</u>
⑦	図書管理システムの導入	未導入	導入	<u>導入</u> (R5年度)

第2章 基本方針

子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、乳幼児期から読書に親しみ、小学生期、中学生期、高校生期へその成長に応じた読書環境の整備を社会全体で取り組んでいくことが必要である。

また、子どもが自ら「本をひらく」ことで、これまで知らなかった世界と出会う機会を増やしていくことも大切である。

本県においては、「本がひらく わたしの未来」をキャッチフレーズとして、「1日20分読書」運動を第4次計画から継続して行うこととされており、それらを踏まえて本町では下記のとおり基本方針を定め、読書活動を推進することとする。

- 1 **子どもの読書活動について、家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組の推進に努める。**
- 2 **多様な子どもたちの読書機会の確保と諸条件の整備・充実に努める。**
- 3 **子どもの読書活動に関する町民の理解と関心の普及に努める。**
- 4 **デジタル社会に対応した読書環境の整備に努める。**

なお、本計画については、令和7年4月から令和12年3月までの5カ年計画としており、アンケート調査を実施し、成果や現状の課題を浮き彫りにして、本町の読書活動がさらなる発展を遂げることが望まれるよう、継続して改訂作業を行う。

第3章 子どもの読書活動推進のための方策

I 家庭における子どもの読書活動の推進

各家庭における「1日20分読書」、「朝読み・夕読み」等の読書活動を生かしながら、親子で読書に親しみ、家庭で読書を習慣化していくことが重要である。

1 家庭での実践

ア 家庭における「親子20分読書」や「読み聞かせ」、「うちどく（家読）*2」を推進する。

イ 子どもと一緒に図書館や書店に行き、本に触れる機会を増やす。

ウ 国や県が推進している「毎月23日は子どもと一緒に読書の日」、「4月23日～5月12日子どもの読書週間」、「10月27日～11月9日全国秋の読書週間」、「1日20分読書」を家庭において推進、定着させる。

2 家庭への支援

ア 保護者を対象とした読書活動の意義や必要性、子どもの発達段階に応じた読書活動の在り方について指導助言を行う。

イ 保護者への読書活動の重要性について理解を促すため、家庭教育学級での研修会や生涯学習講座等を通して啓発を図る。

ウ 司書、保健師、地域のボランティア等が連携した乳幼児健診時における「ブックスタート事業*3」や読み聞かせを実施する。また、「セカンドブック事業」を新規で実施する。

II 地域における子どもの読書活動の推進

子ども読書に必要なスペースの確保や児童図書の収集・提供・子ども会等における読書活動など、地域全体で読書に親しむ機会をもてるようにすることが重要である。

I 町立図書館

(1) 町立図書館における子どもの読書活動の推進

- ア 子ども読書に必要なスペースの確保、児童図書の収集・提供、子どもの読書活動を推進するための読み聞かせ等を実施する。
- イ 地域の親子読書会、読書グループ等関係団体や、学校、保育所等関係機関と連携した、子どもの興味を引きつける定期的な「おはなし会」や「ビブリオバトル（書評合戦）*4」を計画・実施する。
- ウ ボランティアが活動できる場や機会等の情報を提供するとともに、ボランティアの養成を図る研修を実施し、ボランティアを受け入れる。また、職場体験の生徒が作成した館内装飾や手書きポップ、書評などを積極的に展示する。
- エ 学校や保育園、幼稚園への図書資料の団体貸出や巡回貸出等、地域全般へのサービスを提供する。
- オ 学校で実施される「朝の読書」や読み聞かせ、「ブックトーク*5」「ストーリーテリング*6」等読書推進活動の支援を行うほか、学校へ積極的に情報を提供する。

(2) 子どもの読書活動の推進のための町立図書館整備・充実の機能強化

- ア 住民サービスの向上
 - (ア) 住民ニーズを踏まえ、今後も計画的な図書資料の整備に努める。
 - (イ) 県立図書館の「貸出文庫*7」や他の公立図書館との相互貸借の活用を積極的に進める。
 - (ウ) 児童図書（絵本コーナー）の整備・充実を図るほか、利用者が興味を持つ、時期・時代に沿った本の紹介コーナーなど、掲示や展示を充実する。
 - (エ) 司書には住民のニーズに応じて資料を提供するとともに、読み聞かせやブックトークなど、読書指導の知識や技術を身に付けておくことが求められており、各種研修会に積極的に参加し、司書・司書補の資質向上を図る。
- イ デジタル社会等に対応した読書環境の整備
 - (ア) 図書管理システムを積極的に活用し、家庭や学校からの図書館資料の検索・活用を促進する。
 - (イ) インターネット利用端末を設置し、図書資料では調べられない情報について学習できる環境を提供する。
 - (ウ) 感染症の発生等による閉館時においても、本へのアクセスが可能となるよう、住民ニーズを踏まえ、デジタルツールの導入を検討する。
 - (エ) GIGA スクール構想等の進展を踏まえ、ICT を活用した情報発信を充実させる。
- ウ 障害のある子どもの読書活動を推進するための諸条件の整備・充実
 - (ア) 障害のある子どもたちへの読書活動を推進するため、点字資料やLLブックなどの読書バリアフリーに関する資料、用具の収集・購入を行う。

- (イ) 国立国会図書館やサピエ図書館が実施しているインターネットを利用したサービスの提供について周知を行い、アクセシブルな書籍等*8の円滑な利用を促進する。
- (ウ) 点字資料・録音資料については、「鹿児島県視聴覚障害者情報センター*9」を含む全国の展示図書館等がネットワークで結ばれており、すべての公立図書館から貸出が可能となっていることについて、情報提供を行う。

2 民間団体等の活動に対する支援

- (1) 子どもの読書活動に関わる新たなボランティアを養成する研修会を実施する。
- (2) 民間団体がそれぞれの活動を行えるような場の提供や、情報交流会、研修会等を実施する。
- (3) 「子どもゆめ基金*10」など、読書活動の推進に活用できる補助事業の情報提供を行う。

Ⅲ 学校等における子どもの読書活動の推進

各年代の学校や幼稚園、保育園において学校図書室の機能を十分に生かしながら、教育活動全体を通じて意図的・計画的に読書指導を行い、子どもの主体的な読書態度の育成や読書習慣の形成を図ることが重要である。

1 幼稚園・保育園

乳幼児期に読書の楽しさと出会わせ、豊かなイメージをもち、言葉に対する感覚を養うようにすることが、その後の読書活動の基礎となる。そのため、幼稚園・保育園における幼児の読書活動を充実させることが重要である。

(1) 幼稚園・保育園における子どもの読書活動の推進方策

- ア 職員が意図的・計画的に読書に親しませるための取組を進める。
- イ 職員のほか、読書ボランティアグループ「おはなし子ども会」や高校生読書ボランティアグループ「どんぐり」が読み聞かせを行うなど、子どもが絵本や物語に触れる機会が多様になるよう工夫する。
- ウ 家庭での1日20分程度の読み聞かせなど、家族と一緒に本に親しむ時間をつくることの意義や重要性について、保護者へ啓発する。

(2) 家庭・地域との連携による読書活動の推進

- ア 保護者に読み聞かせの様子を参観する機会の提供や発達段階に応じた絵本を紹介するなど、「ブックスタート」による家庭と連携した読書活動の推進を図る。
- イ 職員だけでなく、町内にある読書ボランティアグループ等と連携を図り、読み聞かせの機会の充実を図る。

2 小学校・中学校・高等学校

学校では、これまでもすべての教育活動を通じて読書活動が推進されている。子どもの読書意欲を喚起し、読書習慣を育成するため、発達段階を踏まえた指導のねらいを明確にし、指導内容を位置付けることが重要である。また、学校図書館の活用を図りながら、読書活動を更に充実させていくとともに、家庭や地域との連携を進めていくことも求められる。

(1) 児童・生徒の読書習慣の確立・読書指導の充実

- ア 「1日20分読書」運動に取り組むにあたり、図書室資料の充実を図る。
- イ 不読率を低減させるため、全校一斉読書（朝読書を含む。）など、教職員と児童生徒が一緒に読書をする時間を設定する。
- ウ 学校司書や読書指導担当職員を中心に、読書会、ブックトーク、推薦図書コーナーの設置など、児童生徒の実態に応じてICTも効果的に活用しながら、多様な読書活動や個々に応じた本の紹介を行い、様々なジャンルへ読書の広がりを図る。
- エ 委員会活動など、児童生徒が読書活動に主体的に取り組めるよう支援する。

(2) 家庭・地域との連携による読書活動の推進

- 読書活動を家庭や地域に広めていくために、家庭への啓発や地域との連携を図り、学校・家庭・地域が一体となった読書活動を推進する。
- ア 親子読書にふさわしい本や家庭でできる読書方法の紹介・普及に努める。
 - イ 読書の意義や家庭における読書環境の在り方等について家庭への啓発に努める。
 - ウ 親子読書や朝読み夕読みの取組への支援を行う。
 - エ 学校内に親子読書会や読書グループを設立するほか、町の読書ボランティアグループ、町立図書館司書等を活用するなど、多様な読書活動を推進する。

(3) 全教職員の意識高揚

- ア 町立図書館司書や学校司書、図書担当教諭との連携を図った全校態勢による読書指導の推進を行う。
- イ 学校教職員、学校司書のほか、町立図書館職員、読書グループを対象とした、合同研修会への参加の促進を図る。

(4) 学校図書室等の整備・充実

- ア 児童生徒の視点に立った読書活動を推進し、多様な興味・関心に応える図書の計画的な整備・充実に努める。
- イ 学校図書室の施設や環境の工夫や学級における読書環境の整備・充実に努める。

(5) 町立図書館や他校との連携・協力

- ア 町立図書館からの団体貸出や町立図書館司書の積極的な活用を図る。
- イ 町内の各学校図書室との図書館資料の相互貸借など、連携・協力を努める。

IV 子どもの読書活動に関する広報・啓発の推進

子どもの主体的な読書活動を推進するため、子どもの読書活動の意義や重要性について、広く町民の理解と関心を深めるとともに、「子ども読書の日*11」の取組等を活用しながら、読書活動を推進する社会的気運の醸成を図ることが重要である。

1 「子ども読書の日」を中心とした取組

「子ども読書の日」(4月23日)は、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられたものであり、この日を中心に趣旨に沿った取組を実施する。また、「こども読書週間(4月23日～5月12日)」や「文字・活字文化の日(10月27日)」、「読書週間(10月27日～11月9日)」、「毎月23日は子どもといっしょに読書の日*12」等の推進と充実を図るなど、年間を通じて子どもと大人がともに地域全体で読書活動を推進する気運を一層高めていくよう努める。

2 各種情報の提供・収集

(1) 広報活動

- ア 町広報誌や町防災無線、町ホームページ、SNSを活用した広報(子ども読書の日等の啓発、読書ボランティアグループの活動広報、新刊購入、読み聞かせ会の案内等)
- イ 町立図書館内において読書週間等に関連したコーナーの設置
- ウ 学校向け図書資料リストの配布、子ども読書週間啓発チラシの配布

(2) 情報収集

- ア 地区図書館担当者研修会を利用した管内の取り組み情報の把握
- イ 保護者向けの研修会を利用した各家庭における取り組みの把握
- ウ 学校司書と連携した学校内における取り組みの把握

3 学校、図書館、民間団体及び個人における優れた取組の奨励

- ア 町さわやか子ども表彰を、地域・学校と連携して実施する。(読書賞)
- イ 全国・県・地区の各種読書活動に関する表彰に対して推薦を行う。

第4章 第5次子ども読書活動推進計画における達成目標

令和6年度、児童・生徒及び保護者に「子どもの読書活動に関するアンケート調査」を実施し、本町における読書活動の現状や課題を浮き彫りにし、第5次読書活動推進計画(令和7年4月～令和12年3月)の取組指標とし、達成目標として定めるものである。

1 児童・生徒に関すること

アンケート調査の結果を学校種ごとに見ると、本が「好き・まあまあ好き」と答えた子どもは、小学生で83.4%、中学生で55.5%、高校生で66.2%となっている。

小学校期では本に触れる機会も多く、学校の図書室や町立図書館を利用して本を積極的に借りている様子が伺える反面、中学校・高等学校期では1ヶ月間に読んだ本の冊数が「0冊」の生徒が20%程度いることが分かる。

各学校においては、「朝読書」や「校内読書旬間」などに積極的に取り組み、本に触れる機会を設けていただいているが、今後も引き続き継続して行っていくことが望まれる。

本町においても、不読率の改善に取り組むべく、中学校期・高等学校期における生徒の読書習慣の確立・読書指導の充実を図るため、町立図書館と連携をした事業や講座の実施のほか、推薦図書の設定や推薦図書コーナーの設置など、啓発活動に努める。また、学校や家庭と連携を図り、小学校期における読書習慣が中学校期・高等学校期まで継続されるよう、指導体制の強化が求められる。

【Q1. あなたは本を読むのが好きですか？】

選択項目	小学生		中学生		高校生	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
好き	145	50.2%	29	24.4%	18	27.7%
まあまあ好き	96	33.2%	37	31.1%	25	38.5%
どちらでもない	25	8.7%	23	19.3%	11	16.9%
あまり好きでない	20	6.9%	20	16.8%	9	13.8%
嫌い	3	1.0%	10	8.4%	2	3.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	289	100.0%	119	100.0%	65	100.0%

【Q7. この1ヶ月に何冊の本を読みましたか？】

選択項目	小学生		中学生		高校生	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
0冊	6	2.1%	25	21.0%	15	23.1%
1～3冊	35	12.1%	69	58.0%	38	58.5%
4～6冊	41	14.2%	12	10.1%	7	10.8%
7～10冊	55	19.0%	6	5.0%	3	4.6%
10冊以上	152	52.6%	7	5.9%	2	3.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	289	100.0%	119	100.0%	65	100.0%

達成目標① (児童・生徒に関すること)

◆ **不読率の改善**

(小学生期) R元年度：0.7% → 現状：2.1% → R11年度：1.0%
 (中学生期) R元年度：8.1% → 現状：21.0% → R11年度：10.0%
 (高校生期) R元年度：21.6% → 現状：23.1% → R11年度：15.0%

【特記事項】

各学校朝読書を引き続き継続し、町立図書館司書や学校司書、読書担当教諭が連携を図りながら、読書指導に努める。

達成目標②（児童・生徒に関すること）

◆ 小学生・中学生・高校生を対象とした事業の実施（R11年度：年に1回以上の開催）

- ・ビブリオバトル（書評合戦）、ブックトーク、読書カルタなど

【特記事項】

友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取り組みを行う。

達成目標③（児童・生徒に関すること）

◆ 子ども図書館ボランティア養成講座の実施（R11年度：年に3回以上の実施）

- ・子どもボランティアによる同世代向けおすすめ本の紹介チラシの作成・配布
- ・子どもボランティアによる図書館内の推薦図書コーナーの準備・設置

【特記事項】

達成目標②同様、小学生・中学生・高校生期において友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取り組みを行う。

2 家庭における読書活動の推進に関すること

下記のアンケート調査の結果を見ると、本が「好き・まあまあ好き」と答えた乳幼児の保護者は、63.6%と中学生より高い数値であるが、一方で、1週間に子どもに読み聞かせを実施した日にちが「0日」の家庭は18.2%、1ヶ月に読み聞かせをした本の冊数が「0冊」の家庭は11.4%であった。

各家庭の様々な理由により、時間の確保が難しい時代になりつつあるが、読み聞かせなど1日20分程度、家族と一緒に本に親しむ時間をつくることの大切さや意義について、今後も保護者へ啓発を行う。

また、乳幼児期に読書の楽しさを知るためには、家庭の協力が欠かせないため、保護者への読み聞かせ研修会の実施や、読み聞かせの様子を参観する機会を提供するなど、読書ボランティアグループ、保育園・幼稚園、町立図書館と連携した乳幼児期における家庭での読書活動の推進を図る。

【Q1. あなたは本を読むのが好きですか？】

選択項目	回答数	構成比
好き	11	25.0%
まあまあ好き	17	38.6%
どちらでもない	9	20.5%
あまり好きでない	7	15.9%
嫌い	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	44	100.0%



【Q4. 1週間のうちに、子どもに何日、本を読んであげていますか？】

選択項目	回答数	構成比
毎日	3	6.8%
1～2日	24	54.5%
3～4日	5	11.4%
5～6日	4	9.1%
0日	8	18.2%
無回答	0	0.0%
合計	44	100.0%



【Q5. この1ヶ月に何冊の本を子どもに何冊の本を読んであげましたか？】

選択項目	回答数	構成比
0冊	5	11.4%
1～3冊	15	34.1%
4～6冊	9	20.5%
7～10冊	8	18.2%
10冊以上	7	15.9%
無回答	0	0.0%
合計	44	100.0%



達成目標④ (家庭における読書活動の推進に関すること)

◆ 読み聞かせ率の改善 (0冊：0日)

(1週間単位) R元年度：14.8% → 現状：18.2% → R11年度：12.0%

(1ヶ月単位) R元年度：9.8% → 現状：11.4% → R11年度：8.0%

【特記事項】

幼稚園・保育園、読書ボランティアグループのほか、首長部局や各種団体とも連携し、子育て支援活動の中でも家族で読書に親しむことの重要性について啓発を図る。

達成目標⑤ (家庭における読書活動の推進に関すること)

◆ 乳幼児の保護者を対象とした研修会・講座の実施

(年間) R元年度：0回 → 現状：6回 → R11年度：現状どおり

【特記事項】

子どもの読書活動を推進するためには、子どもにとって一番身近な保護者への啓発が大切であり、研修内容に「1日20分読書」運動の意義や取り組み内容を含める。

3 町立図書館の運営に関すること

下記のアンケート調査の結果を見ると、休みの日や放課後に、町立図書館に「よく行く・たまに行く」と答えた子どもは、小学生で38.0%、中学生で26.9%、高校生で15.4%と年代があがるにつれ低くなる傾向にある。また、子どもと一緒に町立図書館へ「よく行く・たまに行く」と答えた保護者は50%と、全体的に図書館の利用状況は少ない結果が得られた。

子どもの読書活動を推進するためには、それぞれの地域住民のニーズや要望を踏まえ、今後も引き続き“魅力あるみんなの図書館”を目指し、図書資料の充実や児童書コーナーの整備、掲示や展示の充実、司書の資質向上などに努める。(※アンケート調査の町立図書館への要望については、後述する。)

【Q12. 休みの日や放課後に、町立図書館に行きますか？】

選択項目	小学生		中学生		高校生	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
よく行く	46	15.9%	5	4.2%	2	3.1%
たまに行く	64	22.1%	27	22.7%	8	12.3%
ほとんど行かない	65	22.5%	37	31.1%	6	9.2%
行かない	114	39.4%	50	42.0%	48	73.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%
合計	289	100.0%	119	100.0%	65	100.0%

【Q11. 子どもと一緒に町立図書館へ行きますか？】

選択項目	回答数	構成比
よく行く	2	4.5%
たまに行く	20	45.5%
ほとんど行かない	4	9.1%
行かない	18	40.9%
無回答	0	0.0%
合計	44	100.0%



達成目標⑥ (町立図書館の運営に関すること)

● 町立図書館利用率の向上

(小学生期) R元年度：41.7% → 現状：38.0% → R11年度：45%
 (中学生期) R元年度：28.2% → 現状：26.9% → R11年度：30%
 (高校生期) R元年度：17.8% → 現状：15.4% → R11年度：20%
 (保護者) R元年度：44.0% → 現状：50.0% → R11年度：55%

【特記事項】

魅力ある図書館づくりを目指し、利用に関する啓発活動や掲示・展示の充実を図る。

第5次子ども読書活動推進計画における達成目標

(令和11年度までの目標値)

各関係者が互いに連携して計画の推進に取り組み、取組の達成状況や成果を把握するため、達成目標を下記のとおり設定する。

達成目標	項目	R元年度の状況	R6年度までの目標値	R6年度の状況	R11年度までの目標値
①	不読率の改善（小学生）	0.7%	0.7%	2.1%	<u>1.0%</u>
	不読率の改善（中学生）	8.1%	5.0%	21.0%	<u>10.0%</u>
	不読率の改善（高校生）	21.6%	15.0%	23.1%	<u>15.0%</u>
②	中学生・高校生を対象としたビブリオバトルの実施	年0回	年1回以上	年1回	<u>年1回以上</u>
③	子ども図書館ボランティア養成講座の実施	年0回	年3回以上	年0回	<u>年3回以上</u>
④	読み聞かせ率の改善 (0冊:0日)(1週間単位)	14.8%	10.0%	18.2%	<u>12.0%</u>
	読み聞かせ率の改善 (0冊:0日)(1ヶ月単位)	9.8%	5.0%	11.4%	<u>8.0%</u>
⑤	乳幼児の保護者を対象とした研修会・講座の実施	年0回	年1回以上	年6回	<u>現状どおり</u>
⑥	町立図書館利用率の向上 (小学生)	41.7%	50.0%	38.0%	<u>45.0%</u>
	町立図書館利用率の向上 (中学生)	28.2%	35.0%	26.9%	<u>30.0%</u>
	町立図書館利用率の向上 (高校生)	17.8%	25.0%	15.4%	<u>20.0%</u>
	町立図書館利用率の向上 (乳幼児保護者)	44.0%	50.0%	50.0%	<u>55.0%</u>

< 参考資料 >

資料 1 子どもの読書活動に関するアンケート調査の結果

資料 2 南種子町立図書館への要望

資料 3 各学校における読書活動に関する取組状況調査の結果

資料 4 第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画の概要

資料 5 子どもの読書活動の推進に関する法律

資料 6 子どもの読書活動に関するホームページ一覧

資料 7 用語解説

「子どもの読書活動に関するアンケート調査（小学生）」集計表

1 あなたは、本を読むのが好きですか？（漫画等は除く）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	好き	145	50.2%
(2)	まあまあ好き	96	33.2%
(3)	どちらでもない	25	8.7%
(4)	あまり好きではない	20	6.9%
(5)	嫌い	3	1.0%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

2 (1で「エ：あまり好きではない」, 「オ：嫌い」と答えた方へ) その理由はなぜですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	文字を読むのが嫌い	6	26.1%
(2)	めんどくさい	6	26.1%
(3)	忙しい（宿題・習い事）	2	8.7%
(4)	他に好きなことがある（遊び等）	7	30.4%
(5)	その他	2	8.7%
	無回答	0	0.0%
	計	23	100.0%

3 本を読むことは、大切だと思いますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	思う	194	67.1%
(2)	どちらかと言えば思う	78	27.0%
(3)	どちらかと言えば思わない	15	5.2%
(4)	思わない	2	0.7%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

4 小さい頃に、親や先生、地域の人に読み聞かせをしてもらう時間は好きでしたか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	好き	181	62.6%
(2)	まあまあ好き	63	21.8%
(3)	どちらでもない	33	11.4%
(4)	あまり好きではない	10	3.5%
(5)	嫌い	2	0.7%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

5 (4で「エ：あまり好きではない」, 「オ：嫌い」と答えた人へ)
その理由はなぜですか？

- ・自分で読みたい (好みの本・ペース・集中したい・想像しながら)
- ・自分が読みたい本ではなかった
- ・本が嫌い・読み方が上手ではない・聞くのが嫌い・眠たくなる

6 1週間のうちに、何日、本を読みますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	毎日	92	31.8%
(2)	1～2日	76	26.3%
(3)	3～4日	71	24.6%
(4)	5～6日	35	12.1%
(5)	0日	15	5.2%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

7 この1ヶ月に何冊の本を読みましたか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	0冊	6	2.1%
(2)	1～3冊	35	12.1%
(3)	4～6冊	41	14.2%
(4)	7～10冊	55	19.0%
(5)	10冊以上	152	52.6%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

8 (7で「ア：0冊」と答えた人へ) 本を読まなかった理由はなんですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本が好きじゃないから	5	83.3%
(2)	宿題や習い事が忙しいから	0	0.0%
(3)	友達と遊ぶから	0	0.0%
(4)	インターネットやゲームをするから	1	16.7%
(5)	テレビを見るから	0	0.0%
(6)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	6	100.0%

9 読みたい本をどのように手に入れますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	自分で買う	51	17.6%
(2)	大人に買ってもらう	60	20.8%
(3)	学校の図書室で借りる	130	45.0%
(4)	町立図書館で借りる	41	14.2%
(5)	友達から借りる	4	1.4%
(6)	その他	3	1.0%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

10 読みたい本をどのように探しますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	家の人や学校の先生に聞く	42	14.5%
(2)	友達に聞く	26	9.0%
(3)	図書室・図書館で探す	153	52.9%
(4)	インターネットで調べる	57	19.7%
(5)	その他	11	3.8%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

11 休み時間や放課後に、学校の図書室に行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	118	40.8%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	99	34.3%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	30	10.4%
(4)	行かない	42	14.5%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

12 休みの日や放課後に、町立図書館に行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	46	15.9%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	64	22.1%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	65	22.5%
(4)	行かない	114	39.4%
	無回答	0	0.0%
	計	289	100.0%

13 (12で「ア：よく行く」または「イ：たまに行く」と答えた人へ)
町立図書館に行く理由を教えてください。

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本の貸出・返却	87	79.1%
(2)	勉強	10	9.1%
(3)	友だちと遊ぶ	5	4.5%
(4)	時間つぶし（保護者のお迎え待ちなど）	6	5.5%
(5)	その他	2	1.8%
	無回答	0	0.0%
	計	110	100.0%

14 読書バリアフリーに関する道具やサービスで知っているものを選んでください。（複数回答可）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	リーディングトラッカー	13	3.5%
(2)	拡大読書器	57	15.4%
(3)	デイジー図書	20	5.4%
(4)	大活字本	28	7.6%
(5)	LLブック	18	4.9%
(6)	サピエ図書館	11	3.0%
(7)	対面朗読	15	4.1%
(8)	どれも知らない	208	56.2%
	無回答	0	0.0%
	計	370	100.0%

「子どもの読書活動に関するアンケート調査（中学生）」集計表

1 あなたは、本を読むのが好きですか？（漫画等は除く）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	好き	29	24.4%
(2)	まあまあ好き	37	31.1%
(3)	どちらでもない	23	19.3%
(4)	あまり好きではない	20	16.8%
(5)	嫌い	10	8.4%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

2 (1で「エ：あまり好きではない」, 「オ：嫌い」と答えた方へ) その理由はなぜですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	文字を読むのが嫌い	6	20.0%
(2)	めんどくさい	10	33.3%
(3)	忙しい（宿題・習い事）	2	6.7%
(4)	他に好きなことがある（遊び等）	12	40.0%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	30	100.0%

3 本を読むことは、大切だと思いますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	思う	61	51.3%
(2)	どちらかと言えば思う	45	37.8%
(3)	どちらかと言えば思わない	8	6.7%
(4)	思わない	5	4.2%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

4 小さい頃に、親や先生、地域の人に読み聞かせをしてもらう時間は好きでしたか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	好き	35	29.4%
(2)	まあまあ好き	48	40.3%
(3)	どちらでもない	30	25.2%
(4)	あまり好きではない	3	2.5%
(5)	嫌い	3	2.5%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

5 (4で「エ：あまり好きではない」, 「オ：嫌い」と答えた人へ)
その理由はなぜですか？

- ・ 自分で自分の好きな本を読みたい・自分のペースで読みたい
- ・ 面白くないから・つまらないから
- ・ 読み聞かせより自分で読む方が好きだから

6 1週間のうちに、何日、本を読みますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	毎日	18	15.1%
(2)	1～2日	40	33.6%
(3)	3～4日	16	13.4%
(4)	5～6日	11	9.2%
(5)	0日	34	28.6%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

7 この1ヶ月に何冊の本を読みましたか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	0冊	25	21.0%
(2)	1～3冊	69	58.0%
(3)	4～6冊	12	10.1%
(4)	7～10冊	6	5.0%
(5)	10冊以上	7	5.9%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

8 (7で「ア：0冊」と答えた人へ) 本を読まなかった理由はなんですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本が好きじゃないから	6	24.0%
(2)	宿題や習い事が忙しいから	7	28.0%
(3)	友達と遊ぶから	2	8.0%
(4)	インターネットやゲームをするから	7	28.0%
(5)	テレビを見るから	3	12.0%
(6)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	25	100.0%

9 読みたい本をどのように手に入れますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	自分で買う	52	43.7%
(2)	大人に買ってもらう	33	27.7%
(3)	学校の図書室で借りる	21	17.6%
(4)	町立図書館で借りる	4	3.4%
(5)	友達から借りる	8	6.7%
(6)	その他	1	0.8%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

10 読みたい本をどのように探しますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	家の人や学校の先生に聞く	5	4.2%
(2)	友達に聞く	12	10.1%
(3)	図書室・図書館で探す	28	23.5%
(4)	インターネットで調べる	71	59.7%
(5)	その他	3	2.5%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

11 休み時間や放課後に、学校の図書室に行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	25	21.0%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	37	31.1%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	21	17.6%
(4)	行かない	36	30.3%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

12 休みの日や放課後に、町立図書館に行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	5	4.2%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	27	22.7%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	37	31.1%
(4)	行かない	50	42.0%
	無回答	0	0.0%
	計	119	100.0%

13 (12で「ア：よく行く」または「イ：たまに行く」と答えた人へ)
町立図書館に行く理由を教えてください。

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本の貸出・返却	9	28.1%
(2)	勉強	18	56.3%
(3)	友だちと遊ぶ	3	9.4%
(4)	時間つぶし（保護者のお迎え待ちなど）	2	6.3%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答		0.0%
	計	32	100.0%

14 読書バリアフリーに関する道具やサービスで知っているものを選んでください。（複数回答可）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	リーディングトラッカー	5	3.8%
(2)	拡大読書器	14	10.8%
(3)	デイジー図書	1	0.8%
(4)	大活字本	7	5.4%
(5)	LLブック	0	0.0%
(6)	サピエ図書館	0	0.0%
(7)	対面朗読	4	3.1%
(8)	どれも知らない	99	76.2%
	無回答	0	0.0%
	計	130	100.0%

「子どもの読書活動に関するアンケート調査（高校生）」集計表

1 あなたは、本を読むのが好きですか？（漫画等は除く）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	好き	18	27.7%
(2)	まあまあ好き	25	38.5%
(3)	どちらでもない	11	16.9%
(4)	あまり好きではない	9	13.8%
(5)	嫌い	2	3.1%
	無回答	0	0.0%
	計	65	100.0%

2 (1で「エ：あまり好きではない」, 「オ：嫌い」と答えた方へ) その理由はなぜですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	文字を読むのが嫌い	3	27.3%
(2)	めんどくさい	7	63.6%
(3)	忙しい（宿題・習い事）	0	0.0%
(4)	他に好きなことがある（遊び等）	1	9.1%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	11	100.0%

3 本を読むことは、大切だと思いますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	思う	36	55.4%
(2)	どちらかと言えば思う	26	40.0%
(3)	どちらかと言えば思わない	1	1.5%
(4)	思わない	2	3.1%
	無回答	0	0.0%
	計	65	100.0%

4 小さい頃に、親や先生、地域の人に読み聞かせをしてもらう時間は好きでしたか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	好き	21	32.3%
(2)	まあまあ好き	20	30.8%
(3)	どちらでもない	17	26.2%
(4)	あまり好きではない	4	6.2%
(5)	嫌い	3	4.6%
	無回答	0	0.0%
	計	65	100.0%

5 (4で「エ：あまり好きではない」, 「オ：嫌い」と答えた人へ)
その理由はなぜですか？

- ・ 知っていた本だったり, 知らなくても興味が持てず眠くなったり, 自分が読んでいる本を読みたいと思ってしまうから
- ・ つまらない, 興味がない
- ・ 長いから

6 1週間のうちに, 何日, 本を読みますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	毎日	5	7.7%
(2)	1~2日	20	30.8%
(3)	3~4日	8	12.3%
(4)	5~6日	16	24.6%
(5)	0日	16	24.6%
	無回答	0	0.0%
	計	65	100.0%

7 この1ヶ月に何冊の本を読みましたか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	0冊	15	23.1%
(2)	1~3冊	38	58.5%
(3)	4~6冊	7	10.8%
(4)	7~10冊	3	4.6%
(5)	10冊以上	2	3.1%
	無回答	0	0.0%
	計	65	100.0%

8 (7で「ア：0冊」と答えた人へ) 本を読まなかった理由はなんですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本が好きじゃないから	3	20.0%
(2)	宿題や習い事が忙しいから	5	33.3%
(3)	友達と遊ぶから	2	13.3%
(4)	インターネットやゲームをするから	3	20.0%
(5)	テレビを見るから	0	0.0%
(6)	その他	2	13.3%
	・ 本を読む気分にならない		
	無回答	0	0.0%
	計	15	100.0%

9 読みたい本をどのように手に入れますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	自分で買う	34	52.3%
(2)	大人に買ってもらう	8	12.3%
(3)	学校の図書室で借りる	17	26.2%
(4)	町立図書館で借りる	0	0.0%
(5)	友達から借りる	4	6.2%
(6)	その他	1	1.5%
	無回答	1	1.5%
	計	65	100.0%

10 読みたい本をどのように探しますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	家の人や学校の先生に聞く	1	1.5%
(2)	友達に聞く	2	3.1%
(3)	図書室・図書館で探す	13	20.0%
(4)	インターネットで調べる	44	67.7%
(5)	その他	4	6.2%
	無回答	1	1.5%
	計	65	100.0%

11 休み時間や放課後に、学校の図書室に行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	6	9.2%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	12	18.5%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	13	20.0%
(4)	行かない	33	50.8%
	無回答	1	1.5%
	計	65	100.0%

12 休みの日や放課後に、町立図書館に行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	2	3.1%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	8	12.3%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	6	9.2%
(4)	行かない	48	73.8%
	無回答	1	1.5%
	計	65	100.0%

13 (12で「ア：よく行く」または「イ：たまに行く」と答えた人へ)
町立図書館に行く理由を教えてください。

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本の貸出・返却	3	30.0%
(2)	勉強	6	60.0%
(3)	友だちと遊ぶ	0	0.0%
(4)	時間つぶし（保護者のお迎え待ちなど）	1	10.0%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	10	100.0%

14 読書バリアフリーに関する道具やサービスで知っているものを選んでください。（複数回答可）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	リーディングトラッカー	1	1.5%
(2)	拡大読書器	3	4.5%
(3)	デイジー図書	0	0.0%
(4)	大活字本	4	6.0%
(5)	LLブック	1	1.5%
(6)	サピエ図書館	1	1.5%
(7)	対面朗読	5	7.5%
(8)	どれも知らない	51	76.1%
	無回答	1	1.5%
	計	67	100.0%

「子どもの読書活動に関するアンケート調査（乳幼児保護者）」集計表

1 あなたは、本を読むのが好きですか？（漫画等は除く）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	好き	11	25.0%
(2)	まあまあ好き	17	38.6%
(3)	どちらでもない	9	20.5%
(4)	あまり好きではない	7	15.9%
(5)	嫌い	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

2 (1で「エ：あまり好きではない」, 「オ：嫌い」と答えた方へ) その理由はなぜですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	文字を読むのが嫌い	0	0.0%
(2)	めんどくさい	3	42.9%
(3)	忙しい	4	57.1%
(4)	他に趣味がある	0	0.0%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	7	100.0%

3 子どもの頃に、保護者から本を読んでもらったことがありますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく読んでもらった	8	18.2%
(2)	ときどき読んでもらった	25	56.8%
(3)	読んでもらっていない	11	25.0%
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

4 1週間のうちに、子どもに何日、本を読んであげていますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	毎日	3	6.8%
(2)	1～2日	24	54.5%
(3)	3～4日	5	11.4%
(4)	5～6日	4	9.1%
(5)	0日	8	18.2%
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

5 この1ヶ月に何冊の本を子どもに何冊の本を読んであげましたか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	0冊	5	11.4%
(2)	1～3冊	15	34.1%
(3)	4～6冊	9	20.5%
(4)	7～10冊	8	18.2%
(5)	10冊以上	7	15.9%
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

6 (5で「ア：0冊」と答えた人へ)本を読んであげなかった理由はなんですか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本が好きじゃないから(子ども・保護者)	0	0.0%
(2)	何を読めばいいかわからないから	0	0.0%
(3)	読み聞かせの仕方がわからないから	0	0.0%
(4)	忙しい・時間がないから	5	100.0%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	5	100.0%

7 子どもの本をどのように用意しますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	新たに買う	6	13.6%
(2)	家にある本を読む	21	47.7%
(3)	町立図書館で借りる	13	29.5%
(4)	もらう(プレゼント・おさがり)	2	4.5%
(5)	その他	2	4.5%
	・こどもちゃれんじ		
	・職場の図書室で借りる		
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

8 子どもの本をどのようにして選びますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	子どもの好きな本	33	75.0%
(2)	自分が子どもの頃好きだった本	1	2.3%
(3)	友人・知人から勧められた本	4	9.1%
(4)	インターネットなどで調べた人気の本	4	9.1%
(5)	その他	2	4.5%
	・気になった本を選ぶ		
	・子どもが興味のあるような本を選ぶ		
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

9 休みの日やお仕事終わりに、町立図書館に行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	3	6.8%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	16	36.4%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	5	11.4%
(4)	行かない	20	45.5%
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

10 (9で「ア：よく行く」または「イ：たまに行く」と答えた人へ)
町立図書館に行く理由を教えてください。

	選択肢	回答数	構成比
(1)	本の貸出・返却	3	15.8%
(2)	子どもの本の貸出・返却	15	78.9%
(3)	勉強・仕事	1	5.3%
(4)	時間つぶし（子どもの送迎など）	0	0.0%
(5)	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	19	100.0%

11 子どもと一緒に町立図書館へ行きますか？

	選択肢	回答数	構成比
(1)	よく行く（月3回以上）	2	4.5%
(2)	たまに行く（月1～2回程度）	20	45.5%
(3)	ほとんど行かない（数か月に1回）	4	9.1%
(4)	行かない	18	40.9%
	無回答	0	0.0%
	計	44	100.0%

12 読書バリアフリーに関する道具やサービスで知っているものを選んでください。（複数回答可）

	選択肢	回答数	構成比
(1)	リーディングトラッカー	4	6.8%
(2)	拡大読書器	6	10.2%
(3)	デイジー図書	3	5.1%
(4)	大活字本	8	13.6%
(5)	LLブック	2	3.4%
(6)	サピエ図書館	1	1.7%
(7)	対面朗読	5	8.5%
(8)	どれも知らない	30	50.8%
	無回答	0	0.0%
	計	59	100.0%

南種子町立図書館への要望（アンケート調査より抜粋）

★ 小学生 ★

【図書資料について】

・新しい本を増やしてほしい，本の種類を増やしてほしい 27件
・〇〇シリーズが欲しい 29件 ※空想科学読本，サバイバルシリーズ，ひみつシリーズ，ホラー，宇宙，生物，魚図鑑，鉱物，伝記，動物，科学，種子島の本 など

【図書館施設について】

・本の場所を分かりやすくしてほしい 2件
・1人用の机，自習スペースがほしい 2件
・絵本が置いてある部屋に机やいすを置いてほしい 1件

★ 中学生 ★

【図書資料について】

・新しい本を増やしてほしい，本の種類を増やしてほしい 3件
・〇〇の本が欲しい 3件 ※音楽，歴史小説，ホラー小説

【図書館施設について】

・勉強するスペース，机を増やしてほしい 1件
・本を探しやすくしてほしい 1件
・開館時間を早めてほしい 3件

★ 高校生 ★

【図書資料について】

・新しい本を増やしてほしい，本の種類を増やしてほしい 4件

【図書館施設について】

・軽食できる場所を設けてほしい 1件

★ 保護者 ★

【図書資料について】

・新しい本を増やしてほしい 1件
・〇〇シリーズが欲しい 2件 ※児童本，料理のレシピ本，雑誌の最新号，恐竜図鑑，昔話
・1回で借りれる本の冊数を増やしてほしい 1件

【図書館施設について】

・児童書コーナーをもっと本を探しやすくしてほしい（高さなど） 1件
・トイレをきれいにしてほしい 1件
・1人用の机がほしい 1件
・子ども用の部屋がほしい（子どもの声が気にならないような） 1件
・映画を鑑賞できる視聴覚室などがほしい 1件
・軽食できる場所を設けてほしい 1件

学校における読書活動に関する取組状況調査結果

学校名	実施事項	令和6年度 実施時期	実施内容・成果・課題	町立図書館への要望等
中平小学校	読書タイム	月2回程度	<p>(内容) 朝の会終了後、8時30分から8時50分の20分間を読書の時間にしている。自分が借りた本を読んだり、担任が読み聞かせをしたりしている。</p> <p>(成果) 児童が読書をする機会が増える。 読書冊数が増える。</p>	多様なジャンルの本の提供に感謝申し上げます。今後も連携を図り、児童の成長を支えていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
	図書委員会による読書の推進活動	通年	<p>(内容) 本の貸し出しや返却作業 (19日～23日は1冊多く借りることができる。) 学校図書館の環境整備及び壊れた本の修理(本の病院) 校内読書旬間の計画と実施 本の返却が遅れている児童への呼びかけ等</p> <p>(成果) 児童が読書をする機会が増える。 読書冊数が増える。 本の返却が遅れている児童が減る。</p>	
	ひだまり読書隊による読み聞かせ	毎月 第2土曜日	<p>(内容) 朝の会終了後、8時30分から8時50分の20分間に実施している。各学年の発達段階に合わせた本の読み聞かせをしていただいている。</p> <p>(成果) 外部人材を活用することにより、交流の機会が増え、児童の人間関係の形成に繋がる。 発達段階に合った本に触れることができる。 長年活動してくださっている方々のおかげで、児童の読書に関する多くの情報をいただける。</p>	
	校内読書旬間	11月	<p>(内容) 読書郵便 職員による読み聞かせ(担任する学級以外で実施) おすすめの本の紹介カードを書く。 町の読み聞かせ隊による読み聞かせ 学校司書による読み聞かせ</p> <p>(成果) 読書の魅力に気付くとともに、読書への興味や関心が高まる。</p>	
	学校司書による環境整備	通年	<p>(内容) 蔵書点検 古くなった本の廃棄・新しい本の登録作業 読書旬間での読み聞かせ(期間内に2回) 学級文庫の本を選ぶ。 毎月の読書冊数や読書の傾向性を担任に伝える。</p> <p>(成果) 新たな視点から本の紹介をしてもらうことで、児童の読書への興味や関心が高まる。 担任が児童の読書傾向を知ることができる。</p>	

学校における読書活動に関する取組状況調査結果

学校名	実施事項	令和6年度 実施時期	実施内容・成果・課題	町立図書館への要望等
茎南小学校	朝読書	通年 (毎週木曜日)	(内容) ・図書室等で借りた本を、朝の始業前に10分間読む。 (成果) ・落ち着いた雰囲気です授業を始めることができる。 (課題) ・時間が短いため、本の世界を十分に楽しむことができない。	
	読書週間	6月中旬 (1週間)	(内容) ・貸出冊数を通常のプラス1冊 ・各学年で読書(図書)の時間を設定 ・おすすめの本の紹介カードの作成、掲示 (成果) 図書室の利用回数が増え、本の貸出冊数も増えた。また、おすすめの本の紹介カードを書くために、本を何度も読み返す姿が見られた。 (課題) おすすめの本の紹介カードを掲示しているが、活用までできていない。また、作成する時間も限られているため、本の魅力を十分に伝えることができていないのではないかと思う。	
	読書旬間	10月 第2週～第4週 (12日間)	(内容) ・貸出冊数を通常のプラス1冊 ・各学年で読書(図書)の時間を設定 ・読書ビンゴ ・職員による読み聞かせ ・読書祭り(町お話し子ども会による) (成果) 図書室の利用回数が増え、普段は借りないジャンルの本を借りるなど、本の貸し出し冊数も多かった。本に興味をもったり、本の楽しさを味わったりする様子が見られた。 (課題) 借りた本を読まずに、返している(ビンゴを達成するために)様子が見られる。読書旬間が終わると、図書室から足が遠くなる子供たちもいるなど、継続して様々なジャンルの本に慣れ親しませることが課題。	
西野小学校	読み聞かせ	通年 (毎月1回)	(内容) 読み聞かせボランティアの方々による読み聞かせを実施している。学年や学級に分かれて、読み聞かせをしていただいている。 (成果) 幅広い分野の本に親しむ機会が増え、読書意欲が高まった。 (課題) 読み聞かせボランティアとの連携	
	おはなし会	10月	(内容) 南種子町のおはなし子ども会によるおはなし会を開催した。大型絵本の読み聞かせやパネルシアター、種子島民話の朗読などをしていただいた。 (成果) 紹介してもらった絵本を、学校図書館で借りて読む姿が見られた。	
	親子読書	毎月1回 (23日ごろ)	(内容) 毎月23日の「子ども読書の日」に合わせ、親子読書カードに取り組んでいる。親子で一緒に読んだり、親や子のどちらかが読み聞かせをしたりするなど、各家庭で読書方法を選択して取り組むよう設定している。 (成果) 読書を楽しんでいる家庭が多く、親子読書の推進につながっている。 (課題) 読書活動に消極的な家庭へのアプローチ	

学校における読書活動に関する取組状況調査結果

学校名	実施事項	令和6年度 実施時期	実施内容・成果・課題	町立図書館への要望等
大川小学校	朝読書	通年 (毎日)	(内容) 毎朝、朝の始業前に5分ほど読書の時間を設けている。 (成果) 静かに読書を行うことで、落ち着いた状態で一日を始めることができる。 (課題) あまり長い時間の設定ができないため、「じっくり本に親しむ」ことはできていない。	
	家庭教育学級生による読み聞かせ	12月18日	(内容) 12月の朝活動を利用して、家庭教育学級生の有志による読み聞かせを行う。 (成果) 児童のみでなく、保護者への読書に対する意識を高めることができる。 (課題) 本校の朝活動が毎週水曜日しか設定していないため、多くの機会を設けることができない。	
	校内読書旬間	11月11日～22日	(内容) ・図書委員会による読み聞かせ(昼休み) ・読書郵便(おすすめの本の紹介) ・季節の本の設営(司書) (成果) 図書委員会を中心に、読書旬間の様々な取組をおして、読書に親しむ雰囲気作りを行うことができる。 (課題) 少ない児童数の中で、どのような活動が行えるのか、今後検討していきたい。	
島間小学校	地域の方による読書ボランティア	年間10回程度	(内容) 低・中・高の学級に分かれて、10分程度の読み聞かせを行う。 (成果) 種子島の昔話や方言に関する内容に触れることができる。読み聞かせを通して、地域の方とふれあうことができる。読書への興味関心が高まる。	
	読書旬間	年2回 6月・11月 2週間	(内容) ・お話ボランティアによる読み聞かせ ・おすすめの本の紹介 ・読書ゆうびん ・先生方の読み聞かせ (成果) 旬間中の読書量の増加。 本を通じた児童間の交流が深まる。 (課題) 読書に対する興味関心が低い児童への効果的な働きかけが必要。	
	読書ビンゴ	通年	(内容) 国語の教科書関連本のビンゴ (成果) 児童が普段読まないような幅広いジャンルの本を借りるきっかけとなった。 (課題) 読書に対する興味関心が低い児童への効果的な働きかけが必要。	
	親子読書	毎月23日 前後	(内容) 家庭で読書をし、カードに児童や保護者が感想を記入する。 (成果) 家族で読書をする時間をもてる。 親子で読書への意識が高まる。 (課題) 読書の質を高めるために、保護者に発達段階に応じた選書を意識させること。	

学校における読書活動に関する取組状況調査結果

学校名	実施事項	令和6年度 実施時期	実施内容・成果・課題	町立図書館への要望等
平山小学校	朝読書	通年 (週1回)	(内容) 朝の活動の時間に、15分間一人一人が読書に取り組む。 (成果) 子どもたちが落ち着いて読書をする環境づくりができた。 (課題) 読書の習慣化まで至っていない。	
	「平山子ども読書の日」の実施	毎月23日前後	(内容) 家庭学習の課題として、読書や読書カードの作成に取り組む。 (成果) 家庭における読書の意識付けにつながった。 (課題) ・家庭の取組状況に大きな差がある(二極化)。 ・読書の習慣化を図るまでには至っていない。	
	校内読書月間	10月	(内容) ・読書郵便や読書ビンゴなどのイベント ・図書委員会や職員による読み聞かせ ・町の「お話し子ども会」によるお話し会 ・親子で取り組む「宝本カード」の作成 (成果) ・子どもたちが様々な読書活動を体験することができた。また、普段選ばない本にふれ、その本を楽しむ子どもも見られた。 ・お話し子ども会による読み聞かせは、様々なしかけがあり、どの学年の子どもたちも楽しんでいた。	
花峰小学校	読書タイム	通年 (第3・4火曜日)	(内容) 図書室で借りた本や家から持参した本を、朝の活動の時間に15分間読む。 (成果) 朝の活動で、静かに読書する姿が見られた。図書室の利用数が増えた。 (課題) 朝の活動は他にもあり、読書だけを毎日実施することができない。	巡回図書やイベント等いつもありがとうございます。
	町立図書館司書を講師に職員研修	10月30日(水)	(内容) 町立図書館司書を講師に、読書指導に関する職員研修を実施した。 (成果) 読み聞かせについて、児童が楽しめるような工夫等について知ることができた。 (課題) 学校に来られる日に合わせて実施した。特になし	
	読書旬間	11月11日(月) ～24日(金)	(内容) 期間中の読書タイムの時間に保護者や教職員による読み聞かせを実施。読書郵便によるおすすめの本の紹介。図書委員会による読み聞かせ。ペアで交互に読み聞かせを行う。 (成果) 読み聞かせしてもらった本や、お薦めされた本を自分で借りて読む児童が増えた。 (課題) 委員会等で様々な活動の準備が必要である。	
	お話し読書会の方の読み聞かせ	11月15日(金)	(内容) 町のお話し読書会の方々をお招きし、児童に読み聞かせを行っていただいた。 (成果) 読み聞かせだけでなく、パネルシアター、手遊び歌やからだ遊びなどもあり児童は、目をきらきら輝かせながら、読み聞かせを楽しんでいた。お薦めの本の紹介もあり本を手取る姿が増えた。	

学校における読書活動に関する取組状況調査結果

学校名	実施事項	令和6年度 実施時期	実施内容・成果・課題	町立図書館への要望等
長谷小学校	①朝読書活動（8：30～8：40） ②「子どもと一緒に読書の日」に合わせた家庭読書の実施（毎月23日前後） ③町の司書の先生との連携（毎週月曜日の来校時）	①通年 （毎週木曜日） ②通年 （毎月23日前後） ③通年 （毎週月曜日）	①図書室で借りた本や自宅から持ってきた本、巡回図書の本を始業前に10分間読むことで、様々な知識にも触れ、落ち着いて授業に臨む。 ②毎月1回、親子で本に触れる機会を作り、家庭読書カードに記録（児童本人・保護者・担任）し、児童玄関に掲示する。家庭と一緒に読書に取り組むことで、本を通して家族とふれあう機会をつくる。 ③司書の長田先生と読書指導担当が連携を図り、毎月の貸出冊数を担任に提示したり、設営をお願いしたり、選定図書を決めたりする。児童の読みたい本を購入したり、児童が行きたくなる図書室を目指したりしている。	重い巡回図書をいつも運んで下さり、感謝しています。 また、今年度は「みなみ先生の選定した図書のリスト」を学年に応じて作成して下さい、児童の読書意欲につながっています。いつも各学校の読書活動にたくさんの御協力をいただき、ありがとうございます。 今後ともよろしく願っています。
	読書目標の設定と司書の先生によるオリエンテーション	毎年4月 （各学級にて）	今年度の読書目標と冊数を自分で設定して、図書室前に掲示する。目標に対しての個々の到達度を校長先生が毎月担任にお示し下さり、担任は個別に声掛けをしたり、全体指導をしたりする。 司書の長田先生が年度当初に図書室の利用の仕方、貸し出し方法等をオリエンテーションをして児童に確認して下さい。	
	読書週間の実施 ①読書のつどい ②図書委員会による読み聞かせ	毎年6月 （令和6年度は、3日～8日）	①町のお話子ども会ををお招きして「読書のつどい」を実施し、紙芝居やエプロンシアター、大型絵本等を見たり聞いたりすることで、いろいろな読み物に興味をもたせ、児童が進んで本に親しむようにした。 ②朝読書活動の時間に、図書委員会のメンバーが1年生に読み聞かせを行うことで、進んで本を読む意欲を高めさせ、高学年児童との交流も図ることができた。	
読書月間の実施 ①読書感想画 ②職員による読み聞かせ ③読書郵便	毎年10月	①図工の単元と合わせ読書感想画を描いて廊下や教室に展示することで、読んでみたい本を見付けたり、興味のある本を共有したりした。 ②担任以外の職員が各教室に入り、おすすめの本を選んで読み聞かせを行った。担任以外の先生方が来ることで、児童もわくわくした様子で真剣に読み聞かせを聞いていた。また、先生方の読み聞かせして下さいった本を図書室前の棚に展示することで、いつでも読めるようにした。 ③読書郵便ハガキを配り、おすすめの本を友達や先生に紹介する読書郵便を行った。もらっていない児童がいないように、学級間で配慮し、図書委員会が配達した。友達からハガキをもらえる喜びを感じ、返事を書く児童も多かった。		
南種子中学校	ビブリオバトル	11月20日 （水） 11月21日 （木）	（内容） 2年生の国語の授業の中でビブリオバトルを行った。それぞれが紹介したい本を持ち寄り、4人のグループで発表し合った。 （成果） 初めて取り組んだ生徒が多かったが、とても楽しかったという感想が多く聞かれた。ビブリオバトルに向けて初めて小説をまともに読んだという生徒もおり、読書の楽しさに気づいたと言っていた。読書を楽しむきっかけ作りになって良かったと思う。2組は授業参観で発表を行い、保護者の協力も得られた。 （課題） 他の学年でも取り組めると良いと思う。	

学校における読書活動に関する取組状況調査結果

学校名	実施事項	令和6年度 実施時期	実施内容・成果・課題	町立図書館への要望等
種子島中央 高等学校	朝読書	通年 (月～金曜日)	<p>(内容) 家から持参した本や図書室等で借りた本を、設定された朝読書の時間(10分間)に読む。</p> <p>(成果) 図書室の利用者が一定数いる。 隙間時間を使って読書をする姿を見かける。</p> <p>(課題) 取組に個人差があり、宿題等に追われている生徒もいる。</p>	
	文化祭での展示	10月24日	<p>(内容) 図書委員の「おすすめの本」の紹介パネルの作成ならびに展示</p> <p>(成果) 委員の生徒:「おすすめの本」の紹介文を書くための要約力が身についた。興味を引くパネル作成をするために工夫することで創作の喜びを味わった。 生徒:高校生がどんな本を読み、またどんな内容の本があるのかを知ることができた。</p>	
	校内読書週間	11月11日 ～ 11月22日	<p>(内容) ・図書館での催し 図書クイズ・読書ビンゴ ・統一LHR ミニビブリオバトル・菜コンテスト</p> <p>(成果) ・図書館の書架をじっくり見る機会となり、本に対する興味喚起につながった。 ・ビブリオバトルや菜コンテストを通して同年代の友達がどんな本を読んでいるのかを知ることができ、読書の幅が広がるきっかけとなった。</p> <p>(課題) ・自分のおすすめの本を紹介する表現力に個人差があり、ビブリオバトルの内容にもクラス間で差があったようだ。</p>	

第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画の概要

第5次鹿児島県子ども読書活動推進計画とは

「第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画」期間中の取組と課題を踏まえ、令和6年度からおおむね5年間にわたる本県の子どもの読書活動の推進に関する施策の基本的方針と具体的な方策をあきらかにするもの。

第1章 第4次計画期間（令和元年度～令和5年度）における取組と課題

1 主な取組と成果

(1) 家庭・地域

- ・ 「読書活動スキルアップ研修会」（R元～R3）延べ303人参加
- ・ 「鹿児島県高校生ビブリオバトル大会」の継続実施
- ・ 市町村立図書館・室の司書（補）の有資格者（H30：195人 → R4：214人）

(2) 学校

- ・ 「全校一斉読書活動の実施状況」「学校司書の配置率」「司書教諭の発令状況（12学級以上）」「1か月間の一人当たりの平均読書冊数」の現状は、すべて全国平均を上回っている。

2 第4次計画期間における現状と課題

【現状】

令和元年度から令和5年度までの計画期間中に、新型コロナウイルスの世界的感染により公立図書館、学校図書館で活動の制限があったことから、対面で行う活動等については、達成目標を大きく下回っている。

- ・ 保護者を対象とする、読書の重要性についての理解を促すための講座等の実施
【目標値】90.0% H29年度 79.1% → R4年度 30.2%
- ・ 公立図書館・室職員及び学校司書等を対象とする合同研修会の実施
【目標値】80.0% H29年度 65.1% → R4年度 39.5%
- ・ 子どもの読書活動に関わる、新たなボランティアを養成する研修会等の実施
【目標値】70.0% H29年度 41.9% → R4年度 16.3%
- ・ 優れた読書活動を推進している学校や団体、個人の表彰
【目標値】70.0% H29年度 62.8% → R4年度 39.5%

【課題】

- ・ 各種研修会を再開し、子どもの読書活動の推進に関わる人材の育成
- ・ 学校、民間団体及び個人における優れた取組の奨励の推進

第2章 基本的方針

「1日20分読書」運動 ～ 本がひらく わたしの未来 ～

- 1 不読率の低減
- 2 子どもの視点に立った読書活動の推進
- 3 多様な子どもたちの読書機会の確保
- 4 デジタル社会に対応した読書環境の整備

※「1日20分読書」運動…「全ての子どもが1日に少なくとも合計で20分程度の時間、読書に親しみましょう」という運動。昭和35年に久保田彦穂（椋鳩十）氏により提唱された「親子20分読書運動」を継承している。

第3章 子どもの読書活動の推進のための方策 (下線は第4次計画からの変更点)

I 共通事項

- 教師（司書教諭含む）、学校司書、保育士、図書館職員、地域のボランティア等関係者と保護者の連携・協力
- 必要な資質・能力等の向上を図るため、継続的・計画的な研修の実施
- 広報の促進
- 優れた取組の奨励
- 発達段階に応じた取組 等

II 家庭における子どもの読書活動の推進

- 「1日20分読書」運動への取組の推進
- 保護者を対象とする読書の重要性の理解を促すための講座の実施
- 乳幼児期から高校生まで発達段階に応じた本の紹介 等

III 地域における子どもの読書活動の推進

- 1 公立図書館
 - 乳幼児及び児童・青少年と保護者に対するサービス
 - 日本語を母国語としない子ども・保護者に対するサービス
 - 来館が困難な子ども・保護者に対するサービス
 - デジタル社会に対応した読書環境の整備 等
- 2 民間団体への支援
 - 民間団体の養成及び資質向上のための研修の実施 等

IV 学校における子どもの読書活動の推進

- 1 幼稚園・保育所・認定こども園等
 - 多様な読書活動への取組
 - 家庭・地域との連携による読書活動の推進
 - 成長に応じた図書を選定 等
- 2 小学校・中学校・義務教育学校
 - それぞれの学校の実態や子どもの成長に応じた取組の推進
 - 「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての図書館の機能強化
 - 家庭・地域との連携による読書活動の推進 等
- 3 高等学校
 - 全校一斉読書等への積極的な取組
 - 生徒の実態に応じた多様な読書活動や資料の提供
 - 高校生の視点に立った読書活動への関心を高める取組の実施 等
- 4 障害のある子どもの読書活動の推進
 - アクセシブルな書籍等を充実させる等、体制の整備
 - 円滑な利用のための支援の充実
 - 子どもたちの実態に合わせた読み聞かせなどの読書活動の推進 等
- 5 学校図書館の機能強化
 - 学校図書館における読書活動を推進するための諸条件の整備・充実
 - 公立図書館や他校の学校図書館との連携・協力 等

第4章 推進体制の整備

- 1 子どもの読書活動の推進体制の整備
- 2 地方公共団体における連携・協力体制の整備
- 3 各種団体等との連携・協力の促進

鹿児島県における読書活動推進

親子20分読書運動（昭和35年～）

鹿児島県立図書館 久保田彦穂（椋鳩十）館長が提唱。
県内各地に広がり，各地域で様々な取組がなされ，その精神は今なお深く根付いています。

県においては，近年（平成元年以降）次のような事業を展開しています。

豊かなまちづくり読書推進事業（平成元年～7年）

- ・ 地区親子読書巡回セミナー
- ・ 読書推進キャンペーン

心を育てる「本も友だち20分間運動」推進事業（平成8年～12年）

- ・ 読書シンポジウム
- ・ ポスターの作成・配布

乳幼児期からの読書活動の推進（平成13年～15年）

- ・ 「絵本ガイド」の作成・配布
- ・ 指導者育成の研修会

「広げよう深めよう『読み聞かせ』指導者研修会」（平成16年～18年）

- ・ 父親も対象とした読み聞かせの指導者研修会

「自ら本に手を伸ばす子ども」育成事業（平成19年～21年）

- ・ 指導者を対象とした研修会

かごしまっ子20分読書運動 「いつも身近に1冊の本を」（平成21年～25年）

- ・ 読書活動推進員養成講座（読書ボランティアグループの育成）
- ・ おやこ一冊読書
- ・ 地域の読書活動グループ活性化研修会

「1日20分読書」運動 「いつも身近に1冊の本を」（平成26年～30年）

- ・ 子ども読書活動推進スキルアップ研修会
- ・ 鹿児島県高校生ビブリオバトル大会

「1日20分読書」運動 ～心に残る1冊の本との出会い～（令和元年～令和5年）

- ・ 鹿児島県高校生ビブリオバトル大会
- ・ 読書活動推進スキルアップ研修会

鹿児島県子ども読書活動推進計画

第1次
H16年度
から
H20年度

第2次
H21年度
から
H25年度

第3次
H26年度
から
H30年度

第4次
R元年度
から
R5年度

子どもの読書活動の推進に関する法律

※平成 13 年 12 月 12 日法律第 154 号

(目的)

第 1 条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第 2 条 子ども(おおむね 18 歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第 3 条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第 4 条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第 5 条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第 6 条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第 7 条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

子ども読書活動に関するホームページ一覧

ホームページ	主な内容	ホームページアドレス	二次元コード
鹿児島県教育庁 社会教育課	○子どもの読書活動	https://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku-bunka/shogai/dokusyo/index.html	
鹿児島県立図書館	○子どもの読書情報	https://www.library.pref.kagoshima.jp/honkan	
鹿児島県立奄美図書館	○ネリヤカナヤ創作童話コンクール ○こどものほん	https://www.library.pref.kagoshima.jp/amami	
鹿児島県図書館協会	○県図協だより ○親子読書会結成状況	https://www.library.pref.kagoshima.jp/kentokyo/	
文部科学省子ども読書の情報館	○全国の実践事例等	https://kodomodokusyo.go.jp/	
国立国会図書館国際子ども図書館	○子どもと本に関するニュース等	https://www.kodomo.go.jp/	
公益社団法人全国学校図書館協議会	○学校図書館担当者のための情報館 ○よい絵本	https://www.j-sla.or.jp/	
公益社団法人読書推進運動協議会	○こどもの読書週間 ○読書週間等	http://www.dokusyo.or.jp/	
特定非営利活動法人ブックスタート	○ブックスタートとは ○自治体の方へ等	https://www.bookstart.or.jp/	
子どもゆめ基金	○子どもゆめ基金とは ○助成活動紹介等	https://yumekikin.niye.go.jp/	

用語解説

番号	言葉	意味
1	親子 20 分読書運動	昭和 35 年、椋鳩十鹿児島県立図書館館長が提唱した県民運動。
2	うちどく（家読）	家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話すなど、家族で読書習慣を共有すること。
3	ブックスタート事業	乳幼児と保護者に絵本をプレゼントする事業。
4	ビブリオバトル	発表者が順番に本を紹介し合い、意見交換を行った後、参加者が読みたくなかった本を多数決で決定するゲーム。感覚で楽しめる読書会の手法。
5	ブックトーク	あるテーマに沿ってお話をしながら、何冊かの本を紹介していく手法。
6	ストーリーテリング	本を読むのではなく、覚えたお話を語りかけるように話して聞かせる手法。
7	貸出文庫	県立図書館が市町村立図書館（室）における図書館サービスを援助するため実施している事業。
8	アクセシブルな書籍等	視覚障害者等が利用しやすい書籍。例えば、点字図書や拡大図書。
9	鹿児島県視聴覚障害者情報センター	障害のある人のための総合的な福祉センターとして整備された「ハートピアかごしま」の4つの施設の1つ。点字資料の製作や、貸出等を行っている。
10	子どもゆめ基金	子どもの読書活動の振興を図る取り組みの裾野を拡げ、子どもの豊かな情操、思考力、創造力を育み、子どもの健全な育成を図ることを目的とした活動を支援する基金。
11	子ども読書の日	「子どもの読書活動の推進に関する法律」で定められた日。この日を中心に、学校・地域・家庭を通じて子どもの自主的な読書活動が、より一層進められていることが望まれている。
12	毎月 23 日は子どもと いっしょに読書の日	平成 15 年度に鹿児島県図書館協会が提唱。大人自身が読書の楽しさを味わい、その姿を子どもに見せたり、子どもと一緒に図書館や書店に行く機会をつくったりすることを呼びかけている。



第5次南種子町子ども読書活動推進計画

〒891-3792

鹿児島県熊毛郡南種子町中之上2793番地1

Tel 0997-26-1111

Fax 0997-26-0708

E-mail : hope@town.minamitane.lg.jp

発行 令和7年3月

編集 南種子町教育委員会，南種子町立図書館